

+Affiliated with the International Association
 THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
 Chartered October 30, 1994



〒194-0211
 東京都町田市相原町1857
 長谷川 あや子
 TEL & Fax: 042-771-6962
 E-mail: ayako.h3@nifty.com

2026年4月

The Service Club of The YMCA

第370号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	長谷川 あや子	国際会長 エドワード・オン (シンガポール) 主題「信念、愛、行動」
副会長	久保田 貞視	スローガン「共に、より強く」
書記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさし) 主題「信念と愛を持って行動しよう！」
会計	稲葉 恵子	スローガン「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう」
直前会長	並木 真	東日本区理事 山下 真 (十勝) 主題「ワイズのらしさ再発見」
担当主事	西嶋 健太	スローガン「Change!」
ブリテン	山本英次 大久保重子	あずさ部部長 山口 直樹 (東京武蔵野多摩) 主題「垣根を低くし、活発な活動を」
		八王子クラブ会長 長谷川 あや子 主題「若い人の成長を願い、ともに歩む」

2026年4月第一例会プログラム

日時: 4月25日(土) 18:00~20:00
 会場: 八王子市北野事務所 2階 大会議室
 担当: B班(久保田、花輪、望月)
 受付: 花輪ワイズ 望月ワイズ
 司会: 久保田ワイズ

開会点鐘	長谷川会長
ワイズソング	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジター紹介	長谷川会長
聖書朗読・食前感謝	小口ワイズ
卓話: 「日本の政治と外交」 卓話者: 大谷博愛氏 (東京サンライズ、拓殖大学名誉教授)	
東京 YMCA 報告	西嶋担当主事
報告・連絡事項	会長・各委員
スマイル	望月ワイズ
ハッピーバースデー(久保田ワイズ)	長谷川会長
ゲスト・ビジターからの一言	司会
閉会点鐘	長谷川会長

卓話者: 大谷博愛氏 プロフィール 「日本の政治と外交」



小学生時代から札幌
 YMCA 少年部会員 1967年
 山手学舎入舎以来現在に
 至るまで東京 YMCA 会員
 1989年東京サンライズチャ
 ーターメンバー 1977年から

40年間拓大などで政治学を講義。国際交流にも積極的に
 取り組まれています。山中湖センターを本当に愛して下さる
 中で、山中湖センター100周年も応援いただいています。

先月の例会ポイント (3月)

在籍	11名	切手	計	0g
メン	11名			
メイキャップ	0名			
出席率	100%	現金		0円
メネット	1名	スマイル		11,500円
ゲスト	1名	累計		89,650円
ビジター	0名			
ひつじぐも	7名			

今月の聖句(2026年4月)

すべて重荷を負って苦勞している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。私は柔和で心のへりくだ
 った者だから、私の軛(くびき)を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。私の軛は負
 いやしく、私の荷は軽いからである。
 (マタイによる福音書 11:28~30 聖書協会共同訳)

巻 頭 言

第24回チャリティーコンサート 開会挨拶

主催者代表 会長 長谷川あや子

クラブ会長の長谷川でございます。

今日はいよいよ八王子クラブ主催のチャリティーコンサ

ートにお越しくださいましてありがとうございます。今からおよそ30年ぐらい前ですが、地域の皆様とともに音楽を楽しみたいという思いで、この北野市民センタ



ーホールで1997年の秋にコンサートを開きました。その時は無料のコンサートでした。ちょうどその頃カナダのオタワで対地雷禁止条約が締結されました。そのことを知って私達も地域の皆様と共に音楽を通じて世界の平和に貢献したいという思いを深くしました。

翌年の1998年、皆様からチケット代・入場整理券をいただいて、「地雷廃絶日本キャンペーンに寄付をする」というチャリティーコンサートをいたしました。

また、2011年の東日本大震災、2024年の能登半島大地震被災者支援のためにも寄付させていただきました。趣旨に賛同してくださった演奏家の皆様にも恵まれて、こうして毎年チャリティーコンサートを開かせていただいています。

本日もソプラノの山口佳子さん、ピアノの矢崎貴子さんをお迎えての素敵なコンサートです。どうぞ春の一日、ごゆっくり楽しんでくださいますようお願い申し上げます。

簡単ですが、私のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました



今年の司会は、 お客様から好評でした

司会者：西嶋健太



東京八王子ワイズメンズクラブ主催、地雷廃絶・クラスター爆弾廃棄運動支援のためのチャリティーコンサートを開演いたします。地雷廃絶

運動はノーベル平和賞を受賞して、廃絶に向けての運動は関心を集めてまいりましたが、現実には地雷の除去であったりし、被害者の救済は終わっておりません。さらに直近で言いますと、ウクライナ戦争をはじめ、様々な世界の紛争において地雷の使用は継続されております。その結果被害も後を絶っておりません。私たちはこのことに心を寄せ続けてまいりたいと考えております。

東京八王子ワイズメンズクラブと国際兄弟クラブの関係にありまして、長年友好関係にございます台湾高雄ポートクラブ会長のトム・シェン・テイング様より祝電が届いておりますので、拝読させていただきます。

台湾・高雄からの祝いメッセージ

台湾高雄ポートクラブ会長 トム・シェン・キング

東京八王子ワイズメンズクラブ会長・長谷川あや子様、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。長年にわたりこのように意義深いチャリティーコンサートの開催のために、変わらぬご尽力を重ねていただいたことに、心より敬意を表します。

音楽と文化交流を通して地域社会に貢献されている皆様の活動は、私たちに大きな感動を与えてくださっています。ワイズメンの一員として、また台湾高雄ポートクラブの会長として、このように情熱と温かい心を持って活動されている皆様とつながりを持つことを大変光栄に思っております。

皆様の取り組みは私たちの友情と絆をより深めるとともに、国際親善の尊い精神を示すものです。2027年には日本で開催されるコンサートに私自身も参加できるように願い、心より楽しみにしております。

そして我々の思いを通して、私たちの交流がさらに深まっていくことを願っております。

どうかこの度のコンサートが大きな成功を収め、心に残る素晴らしい機会となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

敬意を込めて！

JCBL 代表理事 清水俊弘 さま

ご挨拶

地雷廃絶日本キャンペーンの代表理事をしております清水と申します。

本日は皆さんお忙しい中ご来場いただきましてありがとうございます。



そしてまた長きにわたるこの貴重なチャリティーコンサートを主催してくださっている東京八王子ワイズメンズクラブの皆様にお心より感謝申し上げたいと思います。

対人地雷全面禁止条約、これは調印式が行われた場所にちなんで、カナダの首都オタワですけれども、オタワ条約と言われておりますが、この条約ができて来年で30年にびります。



この30年をわたる歴史の中で条約が築いてきた様々な、非常に重要な成果がありました。現在、世界の約8割の国々がこの条約に加盟し、

そして条約ができる前よりも生産国は激減し、そして犠牲者の数もかなり減ってきました。そうした中で私たちが考えてきたのは、単に対人地雷という小さな兵器だけが禁止されればいいのかということではなく、このような国際法が実効性を持って、この世の中に定着していくための1つのステップという意識も持って活動してまいりました。しかし、ご承知の通りここ数年の間、ロシアによるウクライナ侵攻、また直近ではアメリカのイラン攻撃など非常に大国の乱暴な振る舞いによる国際法がないがしろにされる現状がある中で、私たちはここでひるんではいけないと、少なくとも対人地雷を禁止するという規範だけは、規範だけあって、こ

れだけの話じゃないですが、このこの規範は緩ませてはいけないという思いで、ここ何年かの活動に力を入れてまいりました。

本日、皆様のお手元に、私どもからの活動のご紹介方々案内を配布させていただいておりますけれども、私ども2017年から、対人地雷の犠牲者の支援ということで、ミャンマーで活動が続けてきております。対人地雷廃絶というと、よく多くの人に言われるのは、地雷撤去されてるんですねって言われるんですが、僕自身は全然撤去をして



るわけではなく、そして地雷廃絶といった場合、必ずしも、もちろん撤去もその中の一つとして大事な活動ではありますが、けれども、そもそもこれを生産しないこと、そして備蓄しないこと、もちろん使用しないこと、そして備蓄している地雷は全部廃棄することなど

ですね、様々なことを全て行ってやった廃絶になるわけですが、その中でも犠牲者の支援っていうのが非常に大事であるにも関わらず、国際社会の目はやはり撤去の方ばかりにこう多く目が向けられてしまっていて、犠牲者支援は、例えば昨年度の世界全体の数字で言いますと、地雷



撤去に対する、地雷対策全般に対する支援総額のうち、地雷の犠牲者支援に回ったお金はほんの6%しかありませんで

した。そんなこともありまして、私たちはより犠牲者にもっと世界の人たちの目が向くように具体的な活動をしながら、実際に地雷の犠牲にひびき、絶望した人々が、再び社会に戻れるような支援をしながら、世界全体に対しても犠牲者支援の重要性を訴えていこうというふうに思いながら活動を続けているところです。本日のチャリティーコンサートによって得られる収益も私たちが活動しているミャンマー・カヤー州における犠牲者の支援ということで、できるだけ多くの人たちの社会復帰につながるような活動に使わせていただければと思っております。

この活動はこれからも続けていく所存でありますので、皆様方におかれましては、また引き続き関心を持っていただきたいと思っております。

オペラ歌手 山口佳子さん ご挨拶

本日はワイズメンズクラブ主催のチャリティーコンサート
こんなたくさんのお客さんに来ていただきまして本当に
ありがとうございます。私は山口佳子と申します。八王子
生まれ、八王子育ち、そして今も八王子に住んでいます。
あの国道20号のイチョウ並木があるのをご存知ですよ。
あの追分から多摩御陵まで、そのちょうど真ん中ぐらい



のところで、西の方を開けると高尾山が見え、それからちよ
と行くと南浅川
があつて学校の裏手
は南野坂ですか、そう
いうと、もうどこ

の小学校かもノレちゃうかなと思うのですが、まあ割と長
い人生の中ですが、ちょっとだけイタリアに留学していま
して、ミラノに住んでいました。そういうことで住んだところま
ミラノと八王子ですが、もっと東京の真ん中に行く演奏活
動とか楽しんだりするんですけど、どうしてもここ八王子が
離れられなくて、今ちょっと子育てもしているので、公園が
いっぱいあって、川があって、山があって、やっぱり八王
子がいいなと思って、ここに住み続けております。今日は
24回目になるチャリティーコンサートの素晴らしい活動を
長く続けていらっしゃる、歴史のある会に初めてお声がけ
いただきましてとても光栄に思っています。地元でのコン
サートで初めての方もいらっしゃるかなと思いますけれど
も、楽しんでいただけますよう頑張りますので、どうぞ最後
までよろしく願いいたします。

今日の素敵なピアニストを紹介させていただきます。

ピアニストの矢崎貴子さんです。

矢崎さんは山梨のご出身で、なんとなく中央線つながり



っていうところもある
のですが、今は八
王子に住んでらっ
しゃいます。どこか
でお見かけすること
あるかもしれない。ぜ
ひ「あのコンサートの

時の」って声をかけてあげてください。きっと喜ぶと思いま
す。

大好評だった チャリティーコンサート

チャリティーコンサート実行委員長 花輪宗命
東京八王子ワイズメンズクラブの第24回チャリティーコン
サートは、去る3月28日、会場の北野市民センター大ホー
ルを埋め尽くすお客様をお迎えして、好評のうちに幕を
閉じました。



チャリティーコンサートは、これまで四半世紀にわたっ
て開催してきた八王子クラブが誇る看板CS事業ですが、
今年も、お陰様で、地元はもとより遠方のワイズメンズクラ
ブのメンバーの皆様もお迎えすることができたので、私達
の祈りと願いが十分に満たされる成果を得られました。心
から感謝申し上げます。

本稿では、当日、お客様のご協力によりご記入いただ
いたアンケートの「ご意見・感想欄」のコメントの中から、主
なものを要約して紹介し、皆様に喜んで頂けた背景を報
告させていただきます。

先ず、私事で恐縮ですが、コンサートの実行委員長と
して最も嬉しかったのは、

＊「チャリティーを募る趣
旨の大事さに同感です。
長い間の活動ご苦労様
です。世界から戦争がな
くなるのが第1と思いま
す。」というものでした。

その関連で＊「長谷
川会長のスピーチは、簡
潔で大事な事に漏れなく
触れて、とても良かったで
す。

(JCBLの)清水さんのご挨拶も、私たちにとっても大切
なことに触れていて良かったです。」というご意見も有難く
承りました。

多くの皆様にコンサートを楽しんで頂いたことに最も貢献したのは、紛れもなく山口佳子様と矢崎貴子様の素晴らしい演奏でした。主なコメントでは、

- *「家の近くで一流の演奏家のクラシックコンサートを楽しむことができとても嬉しかったです。子育ての中で、久々のコンサートが楽しめて幸せでした。」
- *「山口さんの歌声も表現力も素晴らしく、トークも楽し



く本当に楽しい時間を過ごせました。矢崎さんの伴奏(ヤソロ)も素晴らしかったです。」

- *「山口さんも矢崎さんも実力派なのに、明るくて飾り気なく、なじみのある歌曲を、聴衆と一緒に歌う時間も取ってくださって、楽しかったです。」
- *「本格的なソプラノ歌手によるオペラの歌曲を、初めて聞きました。地元八王子でこのような機会が得られることを幸せに感じました。」
- *「プログラムの構成が素晴らしく、山口さんのお話が分かり易く、歌の表現が楽しくて、良い時間を過ごせました。」

最後に、これらのご感想のほかにも、次のような励ましの言葉も頂きました。

- *「北野のホールでの家庭的なコンサート、これからも続けてください。」
- *「素晴らしい演奏に感動し、元気をもらいました。楽しみにしていますので、次回もこのようなコンサートの企画・開催をよろしくお願いします。」



チャリティーコンサート 楽屋裏スナップ



黄色のジャンパーは八王子の制服です



さあ～始めるわよ！



ひつじぐも 今年もありがとう！



前田さんは戦力になります



大事な裏方さんです



開演前に満席です



当日予約券がいっぱいです



お客様も応援団（貯金箱募金）

はじめてのお手伝い

中央大学 法学部3年 奥村娃李

中央大学法学部3年、ボランティアサークルひつじぐもに所属している奥村娃李です。新学期を迎え、ひつじぐもでも新入生を勧誘するために活発に活動が行われています。私も入学式以来に多摩のキャンパスに赴き、初心を思い出すと同時に、とても懐かしい気持ちにひよりました。

さて、3月28日に八王子北野市民センター8階ホールで「第24回春のチャリティーコンサート」が開催されました。私たちひつじぐもはコンサートの手伝いとして8名が参加しました。このコンサートは、「対人地雷・クラスター爆弾廃絶」に向けた取り組みとして始まり、時代の変化とともに日本で起きた大規模災害の支援もカバーする形で現在まで続いています。今年は八王子出身のソプラノ歌手山口佳子様と矢崎貴子様のピアノ演奏で構成され、366名の方にご来場いただきました。私は、コンサートは何度か行ったことがあるのですが、運営側として参加するのは初めてでした。皆さんと協力して会場設営を行い、お客様が来場されるのをとても楽しみにしていました。開場すると、たくさんの方にご来場いただき、自分の行った小さな行動がこのような大きなものにつながるのだと実感しました。公演を見て、多くの方が一つの願いをもってコンサートを作り上げていることにも感動しました。そして、自分もその一員として参加できたことはとても光栄だと感じました。ご来場された方々と八王子ワイスマンズクラブの方々が笑顔で再会の喜びを分かち合っていて、地域のつながりもとても感じられました。チャリティーとしての側面はもちろんのこと、地域の方々や活動に興味を持って足を運んでくださった方々の交流の場としてもこのチャリティーコンサートはこれからも続いてほしいと願うとともに来年もまた参加させて頂きたいと思いました。



今月の聖句に寄せて (2026年4月)

「神われらと共に」(詩—アデマール・デ・パロス)

夢を見た、クリスマスの夜。
 浜辺を歩いていた。主と並んで。
 砂の上に二人の足、二人の足跡を残していった。
 私のそれと、主のそれと。
 ふと思った。夢の中でのことだ。
 この一足一足は、
 私の生涯の一日一日を示している。
 立ち止って後ろを振り返った。
 足跡はずっと遠く見えなくなるまで続いている。
 ところが、一つのこと気づいた。
 ところどころ、一人の足跡しかないので、
 私の生涯が走馬灯のように思い出された。
 なんという驚き、一人の足跡しかないところは、
 生涯でいちばん暗かった日とぴったり合う。
 苦悶の日。悪を望んだ日。
 利己主義の日。試練の日。
 やりきれない日、自分にやりきれなくなった日。
 そこで、主の方に向き直って、あえて文句を言った。
 「あなたは、日々私たちと共にいると約束されたではありませんか。
 なぜ、約束を守って下さらなかったのか。どうして、人生の危機にあった私を一人で放っておかれたのか、
 まさにあなたの存在が必要だった時に」
 ところが、主は私に答えて言われた。
 「友よ、砂の上に一人の足跡しか見えない日、それは私がきみをおぶって歩いた日なのだよ」

*今月の聖句、「すべて重荷を負って苦勞している者私のもとに来なさい」を読むとき、私は、なぜか曾野綾子さんが著書「若い才覚」で紹介した、ブラジルの詩人、アデマール・デ・パロスのこの詩を思い出す。この詩は、一人で悩み苦しむとき「あなたは一人ではないのだ」、と教え、生きる勇気を与えます。

並木信一

高尾わくわくビレッジ便り

館長 西嶋健太

春光うらかな季節を迎え、木々の芽吹きに新たな生命の息吹を感じる頃となりました。皆さまには日頃より高尾の森わくわくビレッジの運営に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

まず、春休み期間中は多くの皆さまにご利用いただき、宿泊者数は前年を上回る結果となりました。今年度は、館内の各所で工事や整備を行い、休館日が例年以上に多くございましたが、年間を通しての利用者数は前年とほぼ同水準を維持することができました。これもひとえに、日頃よりご支援くださる皆さまのおかげであり、当施設が多くの方々に認知され、必要とされていることを改めて実感しております。

また、このたび高尾の森わくわくビレッジの運営は、YMサービス株式会社から公益財団法人東京YMCAへと無事に事業移管されました。これにより当施設は東京YMCAの一拠点として新たな歩みを始めております。今後はYMCAの理念や活動とのつながりをより一層深め、地域社会に貢献できる施設として積極的に取り組んでまいります。

さらに、新しい取り組みとして、特定非営利活動法人VIMTA JAPANが展開する「VIMSTOP」の導入が決定いたしました。本事業は、子どもたちが自由にものづくりに取り組むことのできる新しい「サード・プレイス」の創出を目指すものです。5月より「VIMSTOP Waku Ville (ヴィヴィストップ わくビレ)」として始動し、デジタルツールも活用しながら、子どもたちの創造性を豊かに育んでまいります。そこでは「教える人がいない」「決まったカリキュラムがない」「限界を設けない」という考えのもと、子どもたち自身の発想を大切に活動を展開してまいります。今後はロボットコンテストなどの開催も予定しており、多くの方々にその魅力をお



伝えしていきたいと考えております。新年度を迎え、心新たに歩みを進めてまいります。これからも高尾の森わくわくビレッジが、人と人がつながり、学びと成長の場となるよう努めてまいります。引き続きのご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ひつじぐも便り

中央大学総合政策学部3年の霞ひかる

こんにちは。ひつじぐも委員長を務めています、中央大学総合政策学部3年の霞ひかるです。新生活が始まる時期となり、大学内も慌ただしさの中に新鮮な空気が感じられる季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

新年度が始まり、ひつじぐもは新歓活動に力を入れて取り組んでいます。ゴミ拾い活動や児童館活動など新入生が参加しやすいイベントを増やしたり、オンラインでのサークル説明会を実施したりしながら、対面だけでなくさまざまな形で新入生に興味を持ってもらえるよう工夫しています。4月1日から8日にはキャンパス内でビラ配りも行いました。そこでは「ボランティアに興味があって」と声をかけてくれる新入生もあり、関心を持ってもらえていることを実感しました。中でもYMCA主催の海外研修に関心を持つ新入生が多い印象で、国際的な活動への興味の高さを感じました。私自身も新入生の時はYMCAの活動のことをほとんど知らない状態だったのですが、一年次に海外研修に参加して大変良い経験になりました。だからこそ、ビラを配った新入生の中に、同じような経験をしてくれる人がいたら嬉しいなと思いました。

さらに、近年は SNS での発信にも力を入れており、Instagram を通じて新歓の告知や活動紹介を行っています。SNS での情報収集が当たり前になった今の時代において、より多くの新入生の目に触れる機会をつくることのできる点で、SNS の重要性を感じます。

4月11日には、新歓活動の一環としてゴミ拾いも行いました。実際の活動を通して、サークルの雰囲気や魅力を直接感じてもらえる機会になればという思いで取り組み、和やかな空気の中で活動を行うことができました。

4月・5月は新歓イベントが続く予定であり、一緒にサークルを盛り上げてくれるメンバーと出会えることを楽しみにしながら、既存メンバーで協力して取り組んでいます。引き続きどうぞよろしくお願いたします。



花束贈呈の大役を果たしました

東京 YMCA 便り

担当主事 西嶋健太

*12月25日、いじめのない世界をめざす「YMCAピンクシャツデー」が全国のYMCAで実施された。東京YMCAでも、各学校、保育園、児童館、学童クラブをはじめ各拠点で、子どもたちや教職員がいじめ反対をアピールするピンクのシャツを着用した他、いじめについて考える様々な取り組みを行い、その様子をHPで紹介した。

*愛恵福祉支援財団との共催で「豊かな福祉社会を創るために一失したくないもの」をテーマに実施した「第27回愛恵エッセイ賞」の表彰式が、3月7日、北とびあ研修室、及びオンラインで開催された。一般の部、専門職の部、学生の部、外国籍の部の4部門、合わせて252人から作品の応募があり、26人が表彰を受けた。当日は八尾勝審査委員長をはじめ4人の審査委員から作品の講評があり、受賞者から一言ずつ感想が述べられた。

*「2025年度日本YMCAユースボランティア認証」として、全国18のYMCAで活躍するユースボランティア245人が認証を受けた。東京YMCAからも野外教育活動をはじめ各方面で活躍しているユースボランティア25人が認証された。

*3月19日、一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区東新部主催・東京YMCA会員部共催で「認知症サポーター養成講座」が山手センターで開催され、会員、ワイズメン、職員など28名が参加した。新宿区戸塚高齢者総合相談センター職員2名を講師に迎え、認知症の基礎知識や具体的な声かけや支援の仕方等について講習を受けた。

*YMCAの創設者ジョージ・ウィリアムズの伝記『赤三角の父ジョージ・ウィリアムズの生涯』が東京YMCA総合研究機構より発刊された。1918年にケンブリッジ大学出版より刊行された原典を榊原正人理事が翻訳した。中期計画「TOKYO YMCA VISION150」策定にあたり、改めてYMCAの原点を確認・共有したいとの思いから企画された。

*全国のYMCAでは新年度、下記の通り総主事が交替する。

- 日本YMCA同盟 田口努総主事退任 太田直宏総主事就任
- YMCAせとうち 太田直宏総主事退任 白鳥雅人総主事就任
- ぐんまYMCA 村上祐介総主事退任 池田麻梨子総主事就任
- 在日本韓国YMCA 朱宰亨総主事退任 劉慶鍾総主事就任

次ページに続く

前のページより「東京 YMA 便り」 続き

今後の主な行事予定

- ・「早天祈祷会」4月1日(山手センター／オンライン)
奨励:篠田真紀子氏(日本基督教団浅草教会牧師／東京YMCA評議員)
- ・「職員就業礼拝・全体職員会」4月1日(オンライン)
説教:古賀博牧師(評議員会会長／日本基督教団早稲田教会)
- ・「東日本地区YMCA役員研修会」4月25日(オンライン) 講師:田中哲氏(児童精神科医)
- ・「第35回チャリティーゴルフ大会」4月28日 PGM総成ゴルフクラブ
- ・「第23回会員大会」5月23日 山手センター

1. 深 悼 謹んで哀悼の意を表します。
・佐藤一男氏(名誉会員・元東京YMCA常議員会議長・元学校法人評議員)1月30日召天 享年98 以上

2026年4月第二例会・報告 小口多津子(書記)

日時:2026年4月11日(土)18:00～
場所:北野事務所小会議室
出席者:(A)長谷川、稲葉、並木真、小口(B)久保田、花輪、望月、(C)並木信一(8名)

議事:

1. 第24回チャリティーコンサート(長谷川会長報告)
3月28日(土)北野市民センター8階ホール
出演者:山口佳子さん(ソプラノ)矢島貴子さん(ピアノ)
クラブ出席者:稲葉、小口、並木真、長谷川、花輪、久保田メ、久保田佐和子、望月、大久保、並木信一、山本、西嶋、前田さん(並木真友人)(13名)
ひつじくも:霞、鳥越、櫻井、奥村、松田、増田、竹内、高井(参加者7名)
ワイズ:山口、ピーター、大和田、小林、山口(和)、為我井、藤田ファミリー、宮内、小原、小山、御園生、大森、(元ワイズ)酢屋、橋本、水越、福田、大輪、麻生、山本、飯島、
・全体報告(花輪実行委員長)アンケート結果のまとめを配布。

- ・コンサート会計報告.....(会計、稲葉)
前売り券 305枚、当日券 61枚、入場者数、280名
会場募金箱 68,827円
寄付先:JCBL(地雷廃絶日本キャンペーン)
寄付金 26万円(年会費含む)後日4/14送金済み。

2. 第2回あずさ部評議会(長谷川会長)
4月18日(土)13:30～ クラブ集合は、12時30分 高尾の森わくわくビレッジ、研修室1の前に。
受付開始 13:00。出席者予定数 45名、プログラムと能登

のお菓子1袋を配布。お茶は各自。
プログラム:開会式、閉会式司会、久保田さん、お祈り、並木信一さん、挨拶、長谷川会長、
13:40～20分間・卓話・ひつじくも活動報告(霞さん)、日韓交流報告(小倉さん)。
終了後、あずさの集い(二次会)、高尾駅南側居酒屋へ移動(任意)

3. 2026年一27年度クラブ役員表と班編成と年間予定表(久保田次年度会長より資料配布)

7月から会長/久保田、副会長/長谷川、書記/小口、会計/稲葉、ブリテン/山本、CS/花輪、会員増強/並木(信)、交流/久保田、ユース/並木(真)、ファンド/大久保
担当主事/西嶋。行事の追加で、NYCが9月7～13日マレーシア。2027年度次期会長部長研修会が2027年4月17、18日に変更。(区役員会と並行して、東山荘)

4. これからの予定

- (ア) 4月第一例会・4月25日(土)北野事務所
卓話:大谷博愛ワイズ(サンライズ)、

例会前にW4W運動、事務所前に16:00集合、17:00まで北野町近辺のゴミ拾い。

- (イ) 5月9日(土)5月第二例会(C班)北野事務所
- (ウ) 5月16日(土)10時～ひつじくも新入生歓迎会草刈とBBQ、高尾の森 並木C班班長説明・ひつじくも学生参加者数を25名までとする。
申し込み期限、4月末
- (エ) 5月14日(木)東京西クラブ50周年記念会
参加者予定:長谷川、久保田、稲葉、小口
- (オ) 6月6日(土)東日本区大会石巻 参加者:長谷川、久保田メ、メネット、並木(真)、西嶋。
- (カ) 6月13日(土)6月第一例会 A班、卓話者:峰 毅ワイズ(多摩スマイル) 以上

4月ご誕生されたメンバー
久保田貞視さん4月8日

祝

西嶋健太・由紀子ご夫妻に女の子誕生
2026年4月10日誕生
お名前は「華(はな)」ちゃんです